

答弁1 義務教育を受ける年代から様々なキャリア教育の取組を行うことにより、性別に関わらず、それぞれの個性と能力に応じて、職業選択も含め自らが希望する生き方が実現できるよう努めてま

答弁2

- 名称を「親子健康手帳」とする。
- 京都府と市町村が子育てをするパートナーとしてのプレゼントとする。
- 家事育児分担シートや育児休業のスケジュール表を盛り込む。
- 地域の支援団体の連絡先や相談記録のページを追加する。
- 体調異常を即座に察知の為観察のポイントを提示し、相談窓口を案内する。
- リトルベビーハンドブックは、希望する家族に必要な時期に配布し、先輩ママのメッセージを盛り込む。
- 国に対して、修正月齢を考慮した育休期間の延長など制度の改正を要望したい。



ママ達の思いを元に、この取組を牽引できたことに感謝です。

**質問2****文化庁移転による京都府の成長について**

- ① 東京に残る文化観光担当・食文化担当部署等との連携強化についての展開についてはいかがか。
- ② 文化庁職員に京都の良さを伝える取組が必要と考えるが、今後の取組方策はどうか。

答弁1 オール京都のプラットフォームを核とした取組を推進して連携強化をすすめたい。

答弁2 多くの文化庁職員に京都での勤務を希望してもらえるよう、文化に接する工夫をしながら取り組んでまいりたい。

質問3**ボランティアツーリズム(農業支援)について**

高齢化とコロナ禍の影響による宇治茶手摘みの担い手確保の為、宇治茶ボランティアツーリズムを実施し、体験・来訪を通して交流を促し宇治茶の魅力を高める商品展開の取組が有効と考えるがいかがか。



答弁3 令和6年放送予定の「光る君へ」を契機に、メディアや交通事業者とのネットワークを活かし、宇治十帖の舞台である宇治市等、自治体と連携しながら、源氏物語のほか紫式部や文化について、国内外に積極的に京都文化の魅力を発信し、ゆかりの地を観光客の誘客に活用していく。

答弁1 宇治茶の持つ高品質や健康への効果といった価値に加え、その背景にある自然や歴史、技術などの魅力を消費者に伝えることで、更なるブランド力の向上に取り組んでまいりたい。

質問4**高齢化社会におけるICTの活用について**

高齢化社会において、スマート社会の実現や、情報格差の是正のためには、ITの利便性が実感できる取組の推進や、市町村単位での身近なICT教室開催等の支援が必要と考えるが、いかがか。



答弁 高齢者の方々が、充実したスマートライフをおくれるよう、改定予定の京都府スマート社会推進計画においても更なる支援策を検討し、誰もが生き

がいを感じながら活躍できるスマート社会の実現を目指してまいりたいと考えている。

質問5**不登校児童生徒への多様な学習支援の保障について**

身近な場所で提供する「個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援」の更なる早急な具体的な対策をどのように講じていくのか、所見を伺いたい。



答弁 学びの保障と社会的自立を目標に、誰一人取り残さず児童生徒が安心

して個々の状況に応じた教育を受けられる環境を整えられるよう取り組む。

令和5年度
当初予算案
(令和4年度2月補正含む)

～あたたかい京都づくり～
10,327億円



物価高騰・新型コロナ等克服対策

あたたかい京都づくりの発進



詳しくはホームページをご覧ください。